

Stage5

Tiger's Drum Kit

タイガーのドラムセット

作・ジャン・バーチェット、サラ・フォーグラ

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・2 ページを見ましょう。このお話にはだれが出てくるでしょう。
- ・このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがありますか。
- ・お話にでてくるひとたちについて、どんなことを知っていますか。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう:

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

whole 全体の

heard 聞いた

where どこで

suddenly 突然

noise 騒音

together 一緒に

followed ~のあとについて行った

cupboard 戸棚

[p. 1]

タイガーのドラムセット

作・ジャン・バーチェット、サラ・ヴォグラ

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

お話にでてくるひと

タイガー

トビー

タイガーのママ

タイガーのパパ

[p. 3]

タイガーは新しいドラムセットを手に入れました。
タイガーは大きな音でドラムをたたくのが好きでした。

[p. 4]

トビーは怒りました。テレビの音を大きくしなければいけません。

<ドーン>

<カーン>

<タタタ>

[p. 5]

<ドーン>

<ガシャン>

タイガーはドラムを台所に持っていきました。
パパは耳に指をつっこみました。
「なんてうるさいんだ！」、おとうさんは言いました。

[p. 6]

<チリン> <ドーン>

タイガーはドラムを自分の寝室に持っていきました。
「なんてうるさいんでしょう！」、おかあさんは言いました。

[p. 7]

「どこならドラムをたたけるかな？」、タイガーは考えました。
そして、ある考えがうかびました。

[p. 8]

タイガーはビンのふたや王冠と、針金をすこし手に入れました。それを戸棚の中に入れました。それから時計のボタンを押して……。

[p. 9]

タイガーは戸棚に入りこみました。
タイガーは自分で新しいドラムセットを作りました。

[p. 10]

タイガーは新しいドラムセットを強くたたきまくりました。だれにももの音ひとつ聞こえません。「カッコイイ！」、タイガーはにっこり笑いました。

<ドーン、チン>

<カーン、タタタ>

[p. 11]

突然、ママが入ってきました。ママは戸棚からシーツを取り出すと、とびらを閉めました。タイガーは閉じこめられてしまいました！

[p. 12]

タイガーは戸棚のとびらを開けようと押してみました。タイガーはさけびました。タイガーは2枚の王冠をたたき合わせました。だれにももの音ひとつ聞こえません。

<ガシャン>

[p. 13]

それからタイガーはドラムの一部を持ち上げました。それをパイプにはげしくたたきつけました。ガン！ ガン！ ガン！

「なんてうるさいんだ！」タイガーは言いました。

[p. 14]

その音はパイプを伝っていき、家じゅうに行きわたりました。

「あの音はなにかしら？」、ママがたずねました。

「タイガーは、いま何をしているのかしら？」

[p. 15]

みんなはそのさわがしい音をたどって、タイガーの部屋へ行きました。タイガーはそこにはいません。パパは戸棚を開けました。タイガーはそこにはいませんでした。

「タイガーはどこかしら？」、ママが言いました。

[p. 16]

「ぼくはここだよ」、タイガーが言いました。「いったい何を騒いでいる？」

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・どうしてタイガーの家族は、タイガーにドラムをたたくのをやめてほしいとたのんだのかな？
- ・それでタイガーはどうしたかな？
- ・このお話の最後で、タイガーはどうしましたか？
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんに想像力を働かせるよう励ましましょう！ お子さんは自分の楽器を作るのにどんなものを使うでしょうか？

食べもの空き箱など、身のまわりにあるものを使って、お子さんが自分のドラムセットを作るのを手伝いましょう。